

「学校のリーダー、中高生」



教頭 河合智樹

皆さん、はじめまして！平成25年4月よりボストン日本語学校に教頭として着任いたしました、河合智樹です。
着任に際しましてこの誌面をお借りして自己紹介がたご挨拶をさせていただきたいと思います。

小学校教員と中学校教員を経験して今年で教員歴22年目になります。前任校は、横浜市の日吉駅から徒歩約15分の場所にあり、東京の渋谷にも横浜のみなどみらいにも、また今年の3月には埼玉にも乗り換えなしの電車一本で行けるようになるなど交通の便の良いところにありました。

ボストン日本語学校への赴任が決まった際に、周りの方々に「ボストンはとっても素晴らしいところですよ。いいですね～」と言われました。着任前はということだろうと思っていたのですが、こちらに来てわかりました。それは、環境も素晴らしいのですが、住んでいる方々が素晴らしいのですね。とても温かく接してくださったり、さりげなく声をかけてくださったりする方が多いボストンという街に住むことができとても幸せです。私もはやく「はまっこ」から「ボストンっこ」になれるように温かい心をもっていきたいと思います。そして皆様とお話できる機会を楽しみにしておりますので、ぜひお声かけよろしく願いいたします。

さて、現地校の春休み、ペイトリオッツデー、そしてボストンマラソンと活気がわくはずの4月に、衝撃的な事件が起こってしまいました。連日の報道に胸がつぶれる思いをされた方々も多かったと思います。そのような中、20日の日本語学校の開催については保護者の皆様の冷静な対応と運営についてのご理解・ご協力により、滞りなく授業を行うことができたことに感謝を申し上げます。ありがとうございました。園児、児童、生徒の元気な顔を見ることができ、校長をはじめ教職員一同涙が出る思いでした。

その日行われたロックダウン訓練では、子どもたちにも真剣な参加態度が見られました。放送を入れた部屋にいる私にも、じっと息をひそめる子どもたちの熱気が伝わってくるようでした。週に一度しかない日本語学校でも、このような訓練を行う理由について、親子で話題にしていただけたかと思います。万が一のことを想定しておく習慣は、どこに生活していても必要なことかもしれません。

さて、日本語学校では5月25日の運動会に向けての準備が始まっています。リレーの選手決めに張り切っているお子さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。日本の学校では卒業式、入学式に次いで大きな行事の運動会。私たちも“BOSTON STRONG”で盛り上げていきたいと思います。

私が勤務していた小学校では、運動会の花形は6年生でした。応援団をはじめ、演技、リレーなどすべての種目で全校児童のあこがれになる活躍でした。素晴らしいのは、自分たちの演技や種目だけではありません。運動会の準備から、当日の用具係、採点係など自分の係に責任を持って常に動き回っている姿も素晴らしかったのです。6年生の思いは「みんなで運動会を成功させる！」という熱い気持ちです。6年生のひとり一人のこの気持ちが全校に伝わって運動会が成功していたのです。

ボストン日本語学校では、中高生がこの役割を担ってくれます。運動会系の活動もスタートし、自分たちが運動会を成功させるのだという熱い気持ちがじわじわ伝わってきています。学校のリーダーである中高生の気持ちを受け、みんなで最高の運動会を作り上げていきましょう！今年も、児童・生徒の素晴らしい活躍を期待しています。

日本では穀雨の季節ですね。恵みの雨で、穀物や草木が潤うように、私たち教職員と保護者の方々が注ぐ慈しみのシャワーで、児童・生徒が一段と成長する姿を見るのが楽しみです。